



## 基本に立ち返ろう

### 一対一で話す

同僚が話していることに耳を傾けましょう。自分のアイデアも出しましょう。噂話や愚痴だけではなく、解決可能な問題に焦点が当たるようにしましょう。

### 自信を醸成する

あなたや同僚たちは恐怖や絶望を感じているかもしれません。落ち着いた自信を持った態度はそれを和らげます。周りには、何もしなければどうなるかを繰り返し伝えましょう。恐怖ではなく、義憤から力を得られるように促してあげましょう。

### 権力に対して立ち上がる

オーガナイザーは経営側を悪魔として描き出す必要はありません。ただ労働者に対して、権力に対して立ち上がり、仲間のために立ち上がることを促さないといけません。力を持っている者と対峙する方法を見つけましょう。

### 有能なリーダーを獲得する

普段から尊敬を集めているのが誰かを注視し、その人がリーダーとなるように促しましょう。一人ひとりがどんな能力を持つか見きわめ、それを活用する方法を見つけましょう。文句しか言わない人が中心とならないようにしましょう。

### 共通する問題を見つけ、要求を共有する

組織化は人を結集させるために行います。同僚の多くが関心をもっている問題を見つけるまで対話を繰り返しましょう。人から聞いた内容は、他の人とも共有しましょう。

### 民主的に組織する

その問題に影響を受けている、またはその可能性のある人はみんな組織化の対象としましょう。自分の友人や自分と同じように考えている人間の輪の外にいる人も、働きかけましょう。決断をするときには意見を求め、可能な限り多くの人を関与させましょう。全員に役割を見つけましょう。

### 具体的な目標を立てる

目標は具体的でなければなりません。何が勝利かを明確に言葉にしましょう。大多数がこの目標を共有しているようにしましょう。

### 人に行動させる

簡単な集団的な行動でも、単に話すだけよりはいいのです。行動することで活動をやり通すという覚悟を醸成します。要求署名を回しましょう。バッジをみんなを着けましょう。細かな段階を含む計画を立てましょう。各段階を踏むごとに徐々にグループ全体が見えるようになり、力もついていくはずです。

### 団結する

活動が集団的なものである限り、個人が危険にさらされるということはありません。人を結びつけるような活動を設計しましょう。集団を送り込んで管理職と話をさせましょう。全員で署名した文書を書きましょう。

### 近道はない

ひとりで全部やってしまいたい誘惑や、メール一本を送信して、同僚にすべて伝わったことにしたい衝動に打ち克ちましょう。最初は効率が悪いと思うかもしれませんが、継続的に組織化が行われるためには、より多くの人を関与させるのが唯一の方法です。

### だんだんに運動の熱を高めていく

最初は成功しそうな小さな活動から始めましょう。成功から新たな自信を得れば、みんなはより大きくよりリスクの大きい活動をやろうという気になります。

### 行動しながら評価する

一対一や集団での対話を続けましょう。目標がまだ正しく明確であるかを評価しましょう。新たに計画を練り直さないといけないうかを評価し、判断しましょう。

### 組織がすべて

組織はあまりカッチリしていなくてもいいのですが、やるべきことはできるようになっていなければなりません。電話連絡網があれば大きな一歩です。懇親の場も計画しましょう。

### 目標を見失わない

一歩下がって全体を俯瞰し、障害にぶつかっても引きずらないようにしましょう。あなた自身がより大きな運動の一部であることを忘れてはいけません。次の世代にまでバトンをつないでください。